

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生命の科学（口腔の構造と機能）					学期	曜日	校時
英語名	Life Sciences(Structure and Function of Oral Cavity)							
担当 教官名	小守壽文 関根浄治 澤瀬 隆	単位数	2単位	必修 選択	選 択	前期	火曜日	1校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>皆さんは、毎日いろいろな人と話をし、いろいろな物を食べて生活しています。このような活動は人間が快適な生活をするのに基本的なことです。何気なく話しをしたり、食べ物を食べていませんか？もし、このような活動が不自由になったらどうなるか考えたことがありますか？</p> <p>本科目では、会話や咀嚼で重要な役割を担う「口腔の構造と機能」をテーマに講義を行います。さらに、本科目では口腔の構造と機能の破綻、つまり口腔の疾患が起こるとどのようになるか、さらにそれらの疾患をどのように治療するかについても講義を行い、多くの方に「口腔」の役割と重要性を理解してもらうことを目的としています。3人の教官により「口腔の構造と機能」に関する基本的な事項を講義すると共に先端的な研究、治療法も概説します。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
教科書は使用しません。授業計画に沿ったプリント等を配付し、スライドを利用して分かりやすく講義します。								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
全 学 部	定期試験，課題レポート，出席状況等を考慮して評価します。							
授 業 計 画								
<p>第1回 オリエンテーション（小守）</p> <p>第2回 口腔の基本的な構造と機能（1）（小守）</p> <p>第3回 口腔の基本的な構造と機能（2）（小守）</p> <p>第4回 口腔の病気（アウトライン）（小守）</p> <p>第5回 口腔における病気の治療（小守）</p> <p>第6回 顎の骨と歯のできかた（関根）</p> <p>第7回 顎の病気（関根）</p> <p>第8回 顎の病気の治療（関根）</p> <p>第9回 顎の骨折と変形症の治療（関根）</p> <p>第10回 失われた歯・顎の働きを取り戻す方法（関根）</p> <p>第11回 歯が抜けた後の歯科治療（澤瀬）</p> <p>第12回 歯科材料と生体材料（澤瀬）</p> <p>第13回 インプラント治療って？（澤瀬）</p> <p>第14回 インプラントによる欠損補綴（1）（澤瀬）</p> <p>第15回 インプラントによる欠損補綴（2）（澤瀬）</p> <p>（予習・復習に関する指示）</p> <p>本科目の講義内容は初めのオリエンテーションで紹介するので、それにそった参考書などを読んでおくことを薦める。本科目では、予習よりもむしろ復習が重要となるので、各講義で分からなかった点は積極的に質問すること。</p>								